

笑顔になれる庭づくり アイビーガーデン Idea Beam Garden

12月

緑区の皆様こんにちは。私は相模原市、町田市を中心に住宅外構エクステリアの会社を営んでおります(有)新建エクスプランニングの川端聖と申します。



いつもアイビーガーデンを読んで頂きありがとうございます。
コロナも五類になり、元の生活に戻った2024年もあっという間に年末です。
この一年を振り返ってみると、一年半ほど前から始めたウォーキングを続けられてることに自分でもビックリですが、これには繋がる訳があります。

夫婦生活も20年以上となると会話もマンネリ化するような話がありますが、我が家もそんな感じでした…それが今年大きく変化しました。

コロナで活動を制限された生活からか、奥さんがゴルフを始めました。
私は仕事の付き合い程度でやってはいましたが、それほど好んで行くほどではなく、最初は、奥さんとは別行動のゴルフでした。
それが何のきっかけか忘れましたが一緒にゴルフをやることになり、それから夫婦でよくゴルフに行くようになったのです。



共通の遊び？趣味と言ってもいいのか、今年は夫婦の会話にゴルフの話題が尽きませんでした。



ゴルフの最中に上から目線で余計な事を言う私に目くじら立てる奥さんの姿もシバシバありましたが…
いや、結構あった気も…します(^_^)

上手くいったりダメだったり、たくさん笑いもあり、その話題で一緒に飲むお酒もおいしかった！
楽しい時間を一緒に過ごすようになると、ナイスショットでかっ飛ばしたくなるのが私の性格w
足腰鍛えるのが一番だと思い、ウォーキングに繋がるのです。

共通の趣味や話題、それに健康！私が余計なこと言わなければ
100%楽しいゴルフになるのは間違いありません(笑)



年始は子供たちも含めた家族でゴルフの予定があるので、楽しんでまいります。
振り返ると、楽しかったこと、やらかしてしまった事やできなかった事、人それぞれ色々な一年間だったと思いますが、2024年もあと少しです、皆様よいお年をお迎えください。

MAP

町田街道

津久井街道



★
〒252-0102
相模原市緑区
五原宿 5-6-34

八王子方面

橋本方面

(有)新建エクスプランニング

0120-33-2097

〒252-0102
相模原市緑区五原宿 5-6-34



新建エクスプランニング



雪吊りとは、地域によっては雪囲い・冬囲いとも言い、樹木の枝が雪の重みで折れないように縄や針金を使って吊り、補強することをいいます。

雪国では実用と装飾を兼ねていますが、今は、あまり雪の降らない地域でも庭園に趣を添える装飾としてとり入れられ、冬の風物詩となっています。

一般的に雪吊りと聞いてイメージされる傘のように見える吊り方は「**りんご吊り**」と言い、りんごが大きくなった実の重みで枝が折れないよう補強した技術が元となっていると言われています。

準備は
OK?

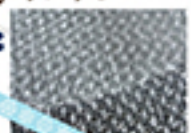
この、牡丹が被っているワラの帽子は「**わらぼっち**」といわれ、寒さや霜から牡丹を守っています。

ひと株ごとにわらぼっちをかぶせられた様子は、帽子をかぶっている様な、あるいは、小さな家のような姿で、「わらぼっち」をかぶった牡丹が並んでいる様子はとても可愛らしいですね。



立水栓の凍結予防

つぎつぎ使える!



いらない
タオルで
グルグル
巻きに

蛇口部分や水栓柱本体などに、あらかじめ断熱材や毛布を巻いておくことで、凍結を防ぐことができます。

しかし、タオルや毛布などで巻いても一部露出していると凍結する可能性がありますので、しっかりと分厚く巻き付けて下さい。
マイナス気温の予報が出たら、外水道の凍結予防を忘れずに!

冬の寒さ厳しい地域の対策は関東でも応用できる事が多いです。
ホームセンターや100均で売っている不織布で、植物を覆ってあげるだけでも、霜が直接植物に落ちないので、花の持ちがよくなります。
植木も、雪予報が出た時は、枝先と幹を結んでおくことで、枝先が折れてしまうのを防げます。
ただ、雪国とは違って降っても一晩程度の関東では、夜中にちょっと植木を気にしてあげて、枝から雪を落としてあげる様な対策の方が、手取り早いのではないのでしょうか。

花のある生活を

花の少ない冬の時期も、赤やピンク・白など鮮やかな色で彩りを添えてくれるシクラメン。
可愛らしいハート型の葉と、ウェーブや八重咲など様々な花弁を持つ優美な姿が印象的なお花です。
近年では品種改良が進んだことで花色も増えて、黄色・紫・グラデーションなどの珍しい色を持つものも増えてきました。

昭和のヒット曲、「**シクラメンのかほり**」をきっかけに冬の鉢花として一気に人気の花になりました。
しかし、実は、この時流通していたシクラメンにはほとんど香りはありませんでした。

というのも、大きく美しい花をつくるために品種改良を重ねた結果、流通していたシクラメンには香りがなくなっていました。
歌のヒットをきっかけに「シクラメンはどのような香りなのか?」と多くの要望が寄せられ、そこから日本で香りのあるシクラメンの品種の育成がされ、平成8年、香りのあるシクラメンの開発に成功しました。

それまでの「色」「形」という個性に「香り」が加わり、今では、冬の代表的な草花になりました。

～シクラメン～



ヨーロッパでは『**豚のパン**』と呼ばれたため、そのまま訳されて『**豚の饅頭**』という和名をもちます。
こんなきれいな花なのに名前がちょっと残念...ですよわ(´・ω・`)

